

*INTEROP TOKYO 2005
JANOG Special Session*

サイバースペースの生死を握る iDC ファシリテイ

~ No, iDC Facility. No, Net. ~

イントロダクション篇

馬渡 将隆 <MAWATARI Masataka>

株式会社 ドリーム・トレイン・インターネット

i D C ファシリティについて思う今日この頃

最近の機器って電気代がかかるよなあ。
すごい熱も出すしなあ。
機器の大きさも大きいものがあるからラックマウント
の配置も悩ましい。

お客様の電力消費量ってどこまで多くなるんだろう。
空調のパワー足りるだろうか。熱処理どうしよう。

C P U や H D D はどこまで高スペックになって
いくの？どこまでの性能が本当に必要なの？



iDC



xSP



メーカー

最近の機器って電気代がかかるよなあ。

ある意味、当然ですが、
それぞれの立場で
違った主張があります。

メーカ

■ 本セッションの趣旨

- それぞれの立場から見える現在の状況を知る
 - ◆ ハウジングサービスを提供する人 (iDC)
 - ◆ ラックに入れる機器を作っている人 (機器メーカー)
 - ◆ iDC を利用する人 (主に xSP)
- 全体的な状況と問題の関係を把握した上で、どのように対処すべきかについて考える

■ アジェンダ & 発表者紹介

■ 機器メーカーから見える現在の状況と問題点について

- ◆ 藤本 幸一郎 : NEC Solutions America Inc.

■ i D C の現在の状況と海外の事例について

- ◆ John Mansfield : Equinix Asia Pacific Pte. Ltd.
- ◆ 黒川 章登 (通訳) : エクイニクスジャパン株式会社

■ ファシリティの問題を解決するための糸口とは

- ◆ 高田 寛 : メディアエクステンジ株式会社

■ 参加者を含めたディスカッション